

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	独語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical German		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	坂本 真樹		
居室	西6-511		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakamoto@hc.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>秋のドイツ語技能検定試験4級合格を目標にします。</p> <p>1年生のときに習得したドイツ語の知識を確かなものにすれば、きっと合格できます。</p> <p>独検を必ずしも目指さないという人は、1年生のときに習得したドイツ語の能力をさらに発展させることを目指しましょう。</p> <p>試験後は、ドイツ人の生活やドイツの文化がわかるようなビデオ教材を用いながら、自然なドイツ語の表現を身に付けることを目指した授業を行います。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>独語第一及び独語第二</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>選択独語第一及び選択独語第二</p>

【教科書等】

教科書：関口一郎著「ハロー・ミュンヘン・ノイ」（白水社）

辞書：手持ちのものでよい

【授業内容とその進め方】

第1回：ガイダンス

第2回：模擬試験、発音問題対策

第3回：動詞の現在人称変化、格変化、人称代名詞、名詞の複数形、冠詞類

第4回：聞き取り問題対策、会話問題と読解問題対策

第5回：単語テスト、前置詞、話法の助動詞

第6回：その他試験範囲の文法

第7回：独語検定解答他

第8～13回：ビデオ教材を使った授業

第14回：期末試験

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：授業参加度・単語テスト・期末試験や独語検定結果を次のように総合評価する。

なお、独語検定受験は必須ではない。

成績評価 = (授業参加度評価点 × 30%) + (単語テストの評価点 × 20%) +

(期末試験・独語検定評価点 × 50%)

評価基準：独語検定4級レベルの文法事項およびテキストに出てくる単語を習得していることをもって合格の基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

1年生のときにせっかく努力して身につけたドイツ語の能力を形にして残したいと思いませんか？英検を持っている人はたくさんいますが、独検をもっている人はそうはいません。就職のときなどにも堂々とアピールできますよ。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】